

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	27.4	50.1	19.2	2.8
	東 中	20.5	56.4	17.9	5.1

(単位 %)

【考 察】

- 肯定的な回答をした生徒が7割以上で、自分にあった学習ができている生徒が多いと考えられます。授業や自主学習で分からないことがあるときは、教科書や資料集、さらに、ワーク等を活用するなど工夫して学習しています。また、タブレット端末を用いて調べる活動も行っています。
- 学級で様々な学習方法を紹介し合ったり、効果的な学習方法を検討したりする取り組みを継続し、一人一人の学習の状況に応じて、自分にあった適切な学び方を選択できるよう支援していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7
	東 中	2.6	7.7	53.8	28.2	5.1	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 2時間以上学習している生徒は全国と比べて少なく、家庭における学習時間が短いといえます。自己マネジメント手帳を効果的に活用することや、学習目標や計画を立てる機会を設けるなどの工夫をして、家庭学習の時間が十分に確保できるよう指導を続けていきます。特に、メディアコントロールを意識させ、時間の使い方について自己管理できるよう支援していきます。
- 夢や目標をもち、それに向かって、今やるべき事に主体的に取り組める生徒に育てていきたいと考えています。自分に必要な学習内容や学習時間などを考え、家庭学習の充実が図れるよう、個に応じた指導・助言を行っていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	23.0	50.4	21.3	3.7
	東 中	7.7	59.0	25.6	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 授業では課題（めあて）を明確にし、生徒が「何を学習するのか」を意識できるように進めています。今後はさらに、授業の終わりに適用問題に取り組むことや、本時の学習内容をまとめ、振り返る時間を確実に設けることで、「何ができるようになったのか」「何がわからなかったのか」を明らかにし、学ぶ意欲を高めながら次の学習につなげられるよう支援していきます。
- 授業、定期テストに向けての学習、家庭学習などに取り組む中で、分からない内容や疑問に思ったことなどを級友や教師に質問するなどして、理解するまで粘り強く学習に取り組む生徒が増えました。今後も、分からないことをそのままにせず、自己の課題を理解して主体的に学習する生徒を育てていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	45.5	46.4	5.3	1.3
	東 中	35.9	48.7	5.1	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 全体の84.6%が授業や学校生活において、周囲の考えを大切にし、お互いに協力しながら課題解決に取り組むことがおおそできています。話し合い活動において、自分の考えを素直に表現し、相手の考えを共感的に聞くことは、思考の広がりや深まりにつながります。他者に伝えることにより自分の思考が整理されたり、他者からの情報により新たな気付きや発想が生まれたりすることで学びの効果が高められるよう、協働的な学習に取り組んでいます。
- 学習に向かう姿勢に真剣さが増し、集中して学習活動に取り組める生徒が増えたことで、学習する雰囲気や環境を生徒自身でつくっていくことができるようになってきました。希望進路実現に向けて、学級や学年全員でよい雰囲気をつくりながら切磋琢磨することができるよう、今後も指導していきます。